

- 注 1. 環境水中亜鉛濃度については、1991年～2000年の10年間の公共水域水質測定結果を基に0.03mg/L超過を複数年検出した地点の平均値を用いて濃度区分を行った。
「複数年超過なし」については、0.03mg/L超過が複数年無かったものを示す。なお、NDについては対象外とした。
2. 1995年～2002年度の8年間の排出量総合調査データを基に、排水中の平均亜鉛濃度が1mg/Lを超過する事業場が存在する状況をエリア表示した。

凡例

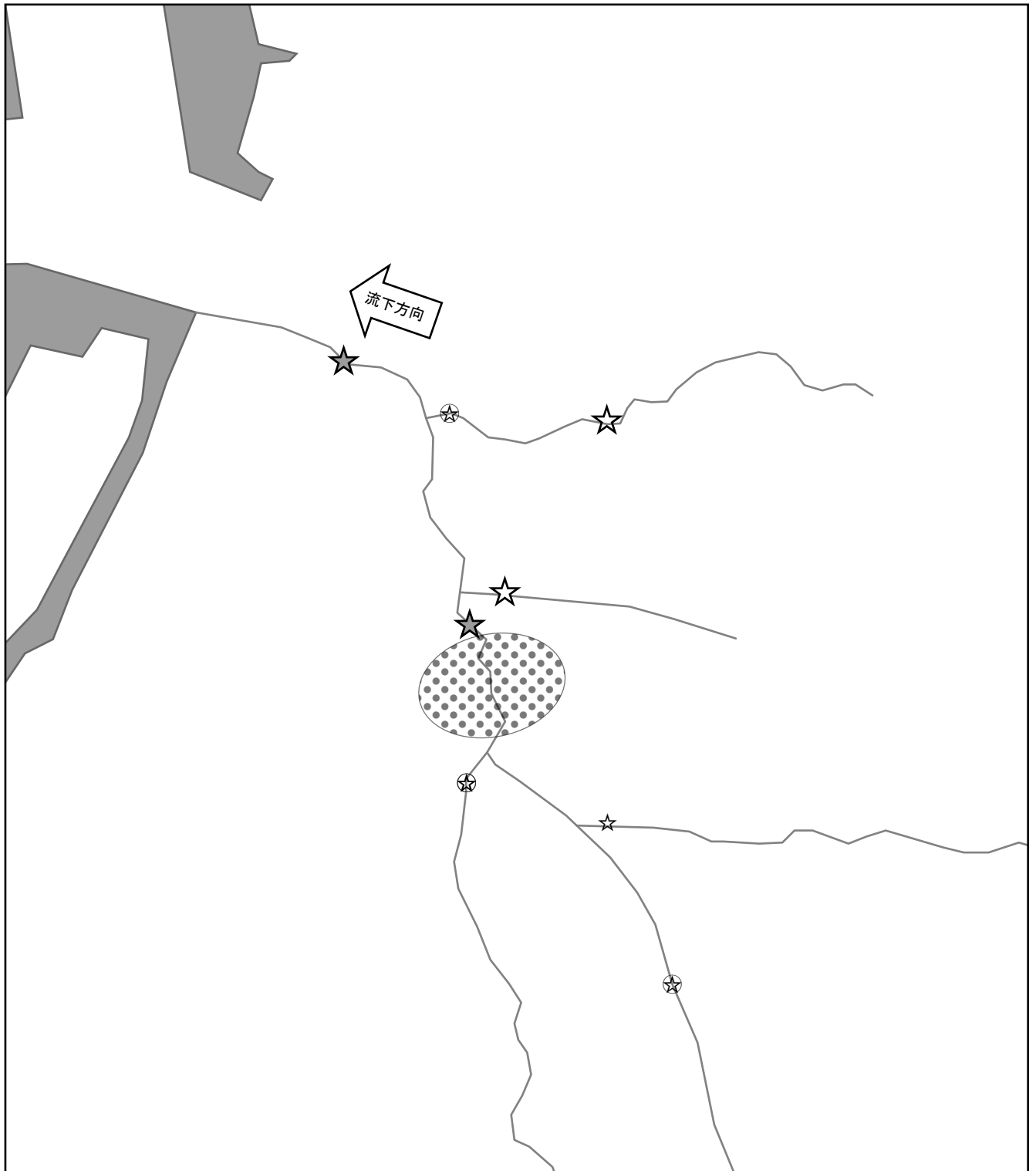
環境水中亜鉛濃度

- ★ 0.1mg/L超過
- ☆ 0.03～0.1mg/L
- ☆ 0.02～0.03mg/L
- ☆ 0.02mg/L以下
- ☆ 複数年超過なし


事業場排水亜鉛濃度

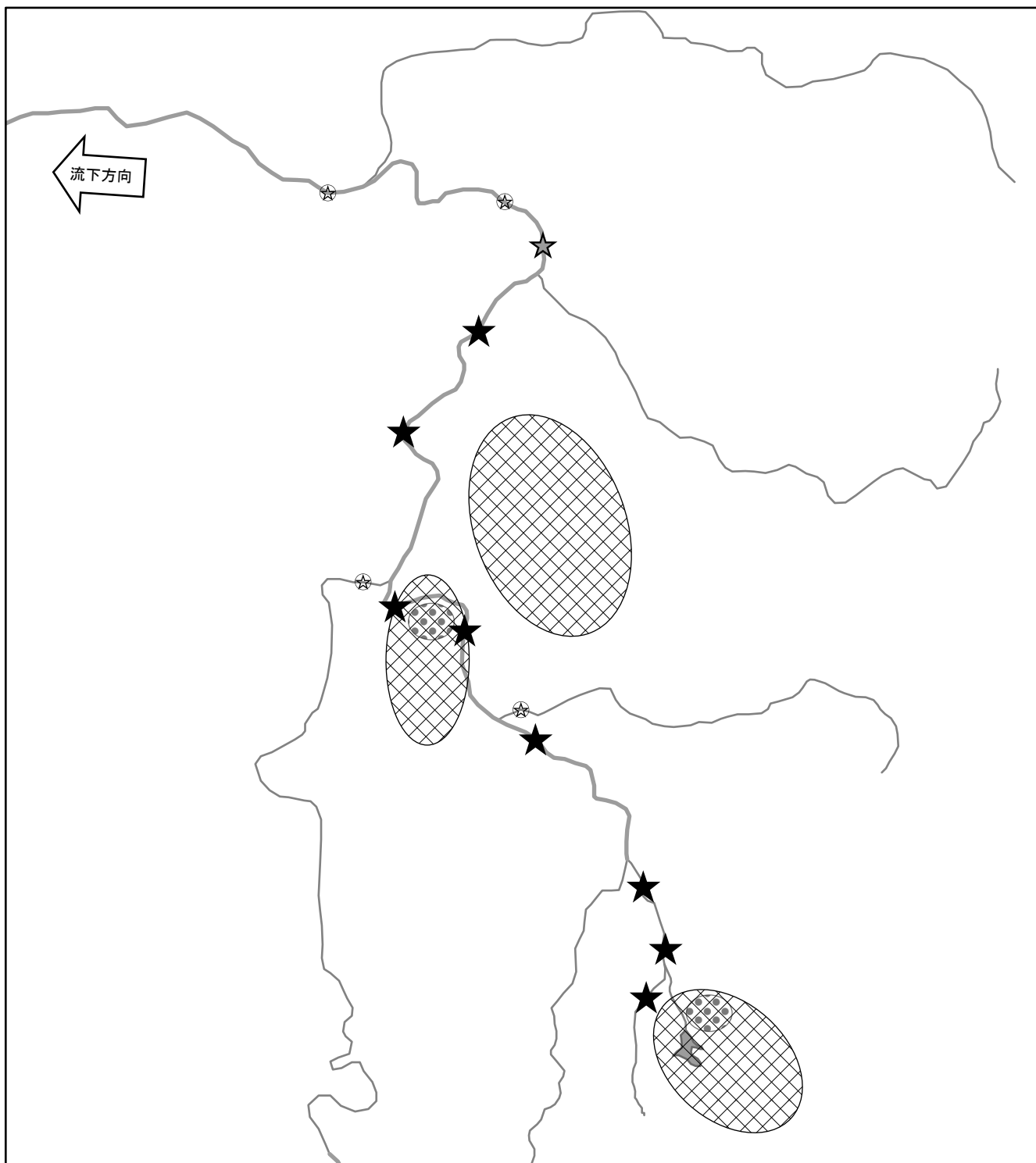


平均亜鉛排出濃度が1mg/L超過する事業場が存在するエリア





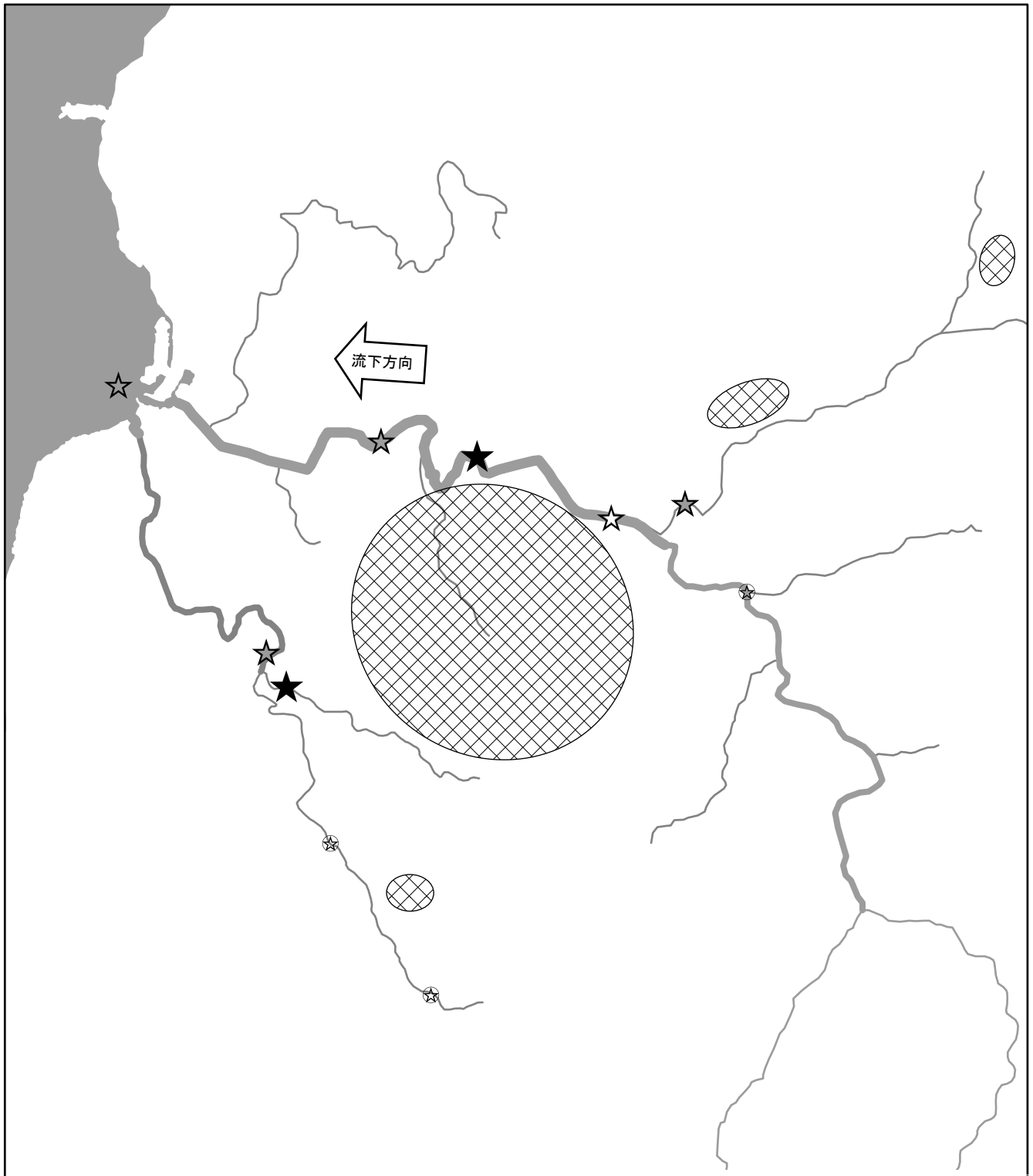
- 注1. 環境水中亜鉛濃度については、1991年～2000年の10年間の公共水域水質測定結果を基に0.03mg/L超過を複数年検出した地点の平均値を用いて濃度区分を行った。
「複数年超過なし」については、0.03mg/L超過が複数年無かったものを示す。なお、NDについては対象外とした。
2. 1995年～2002年度の8年間の排出量総合調査データを基に、排水中の平均亜鉛濃度が1mg/Lを超過する事業場が存在する状況をエリア表示した。

凡例	
環境水中亜鉛濃度	事業場排水亜鉛濃度
★ 0.1mg/L超過	 平均亜鉛排出濃度が1mg/L超過する事業場が存在するエリア
☆ 0.03～0.1mg/L	
☆ 0.02～0.03mg/L	
☆ 0.02mg/L以下	
☆ 複数年超過なし	




- 注 1. 環境水中亜鉛濃度については、1991年～2000年の10年間の公共水域水質測定結果を基に0.03mg/L超過を複数年検出した地点の平均値を用いて濃度区分を行った。
「複数年超過なし」については、0.03mg/L超過が複数年無かったものを示す。なお、NDについては対象外とした。
2. 1995年～2002年度の8年間の排出量総合調査データを基に、排水中の平均亜鉛濃度が1mg/Lを超過する事業場が存在する状況をエリア表示した。
3. 休廃止鉱山あるいは鉱脈の存在が、既存情報等により確認されている状況をエリア表示した。

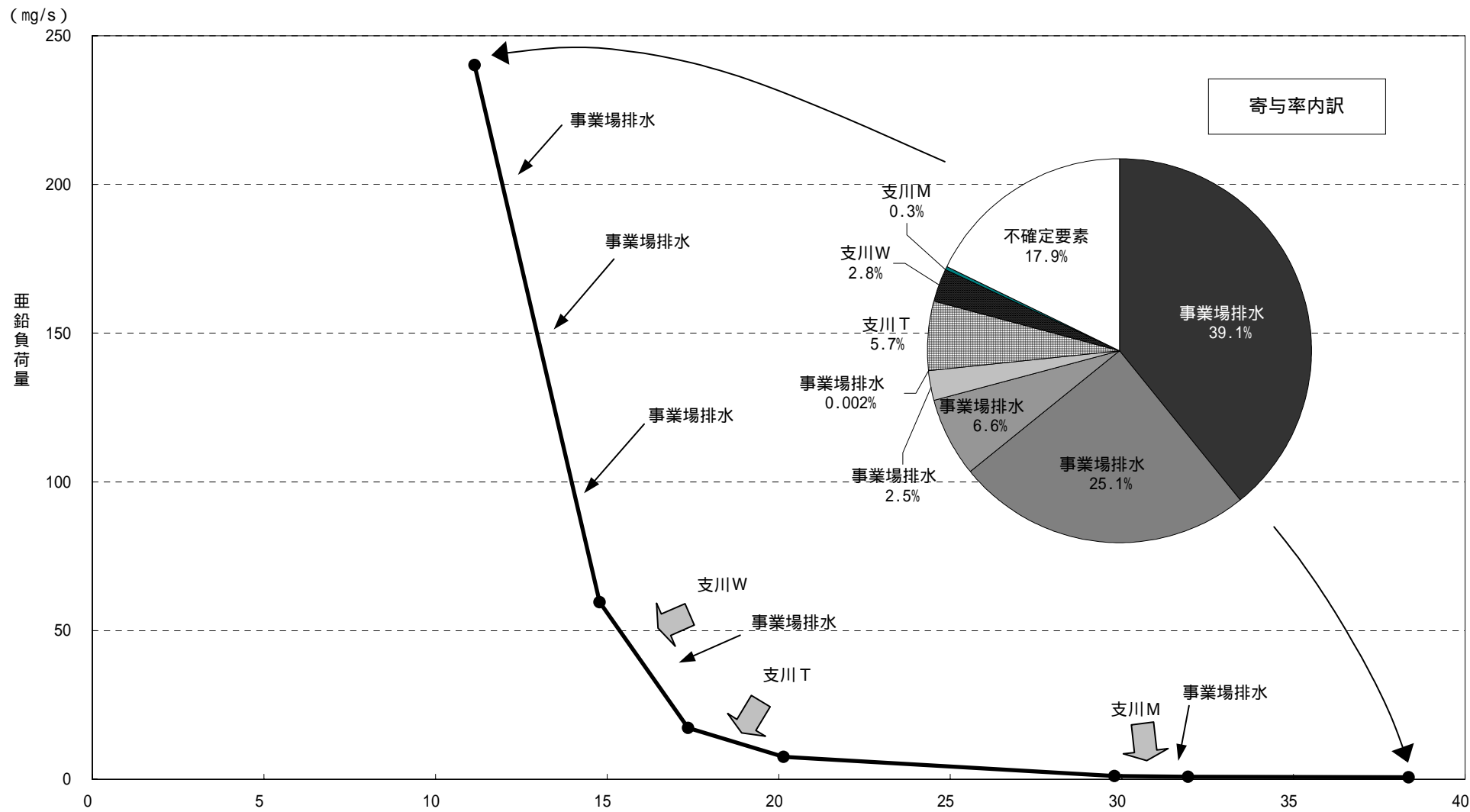
凡例		
環境水中亜鉛濃度	事業場排水亜鉛濃度	休廃止鉱山、鉱脈
★ 0.1mg/L超過	 平均亜鉛排出濃度が1mg/L超過する事業場が存在するエリア	
☆ 0.03～0.1mg/L		
☆ 0.02～0.03mg/L		
☆ 0.02mg/L以下		
☆ 複数年超過なし		



注 1. 環境水中亜鉛濃度については、1991年～2000年の10年間の公共水域水質測定結果を基に0.03mg/L超過を複数年検出した地点の平均値を用いて濃度区分を行った。
「複数年超過なし」については、0.03mg/L超過が複数年無かったものを示す。なお、NDについては対象外とした。

2. 休廃止鉛山あるいは鉛脈の存在が、既存情報等により確認されている状況をエリア表示した。

凡例	
環境水中亜鉛濃度	休廃止鉛山、鉛脈
★ 0.1mg/L超過	
☆ 0.03～0.1mg/L	
☆ 0.02～0.03mg/L	
☆ 0.02mg/L以下	
☆ 複数年超過なし	



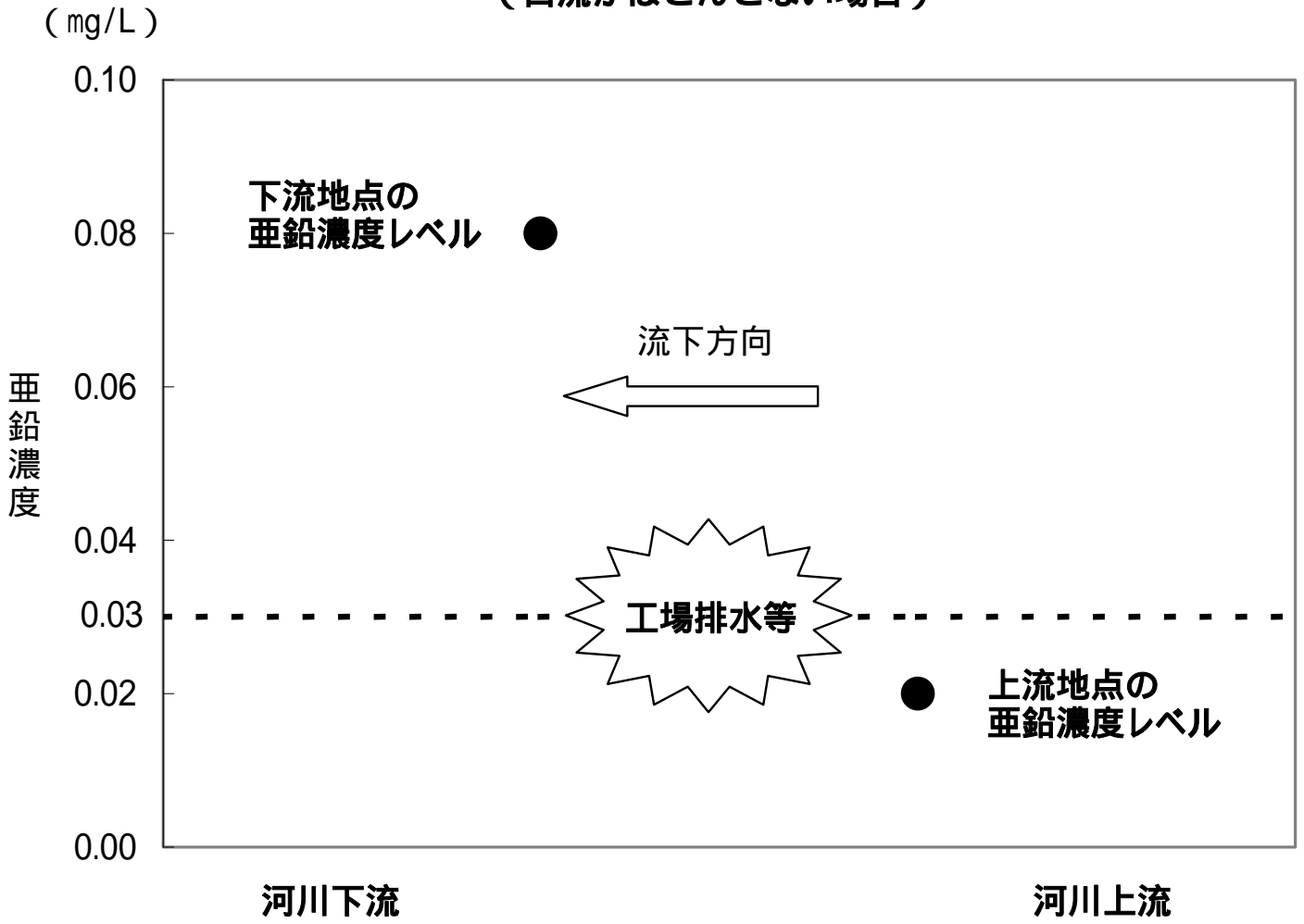
亜鉛負荷量の縦断分布と寄与率内訳 (I 河川)

河口からの縦断距離 (km)

工場等の排水量と河川の流量との関係

【ケース1：工場の排水が1 mg/L 未満で環境基準が超過する事例】

(自流がほとんどない場合)



河川 下流地点		
濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
0.080	0.097	7.760

河川 上流地点		
濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
0.020	0.011	0.220

工場排水等

	濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
排水	0.005	0.008	0.040
排水	0.042	0.008	0.336
排水	0.411	0.010	4.110
排水	0.018	0.010	0.180
小計			4.666

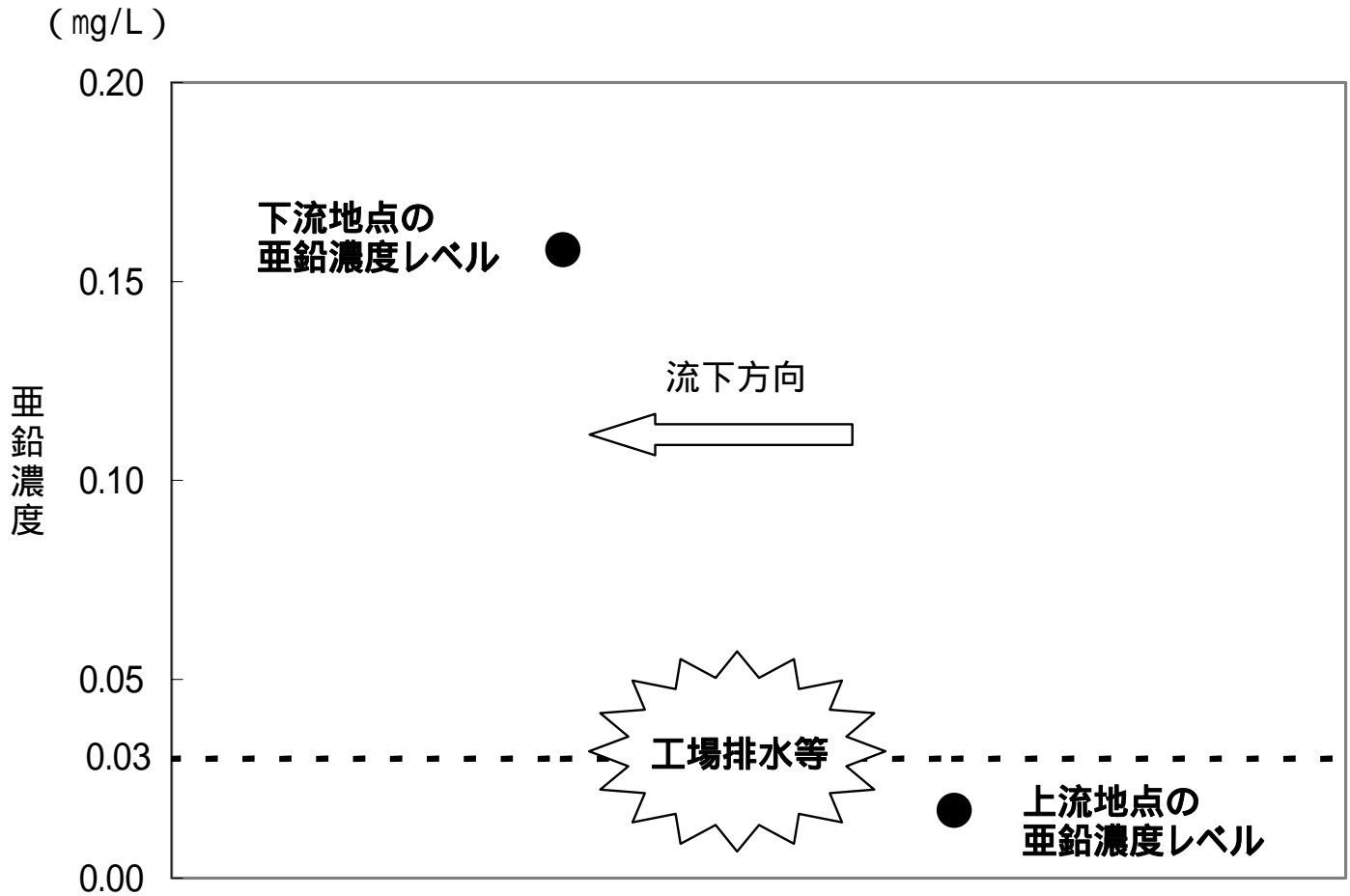
負荷割合 (%)

62

	濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
その他	0.057	0.050	2.874

38

【ケース 2 : 工場の排水が 1 mg/L 程度で環境基準が超過する事例】



河川下流

河川 下流地点		
濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
0.158	0.731	115.498

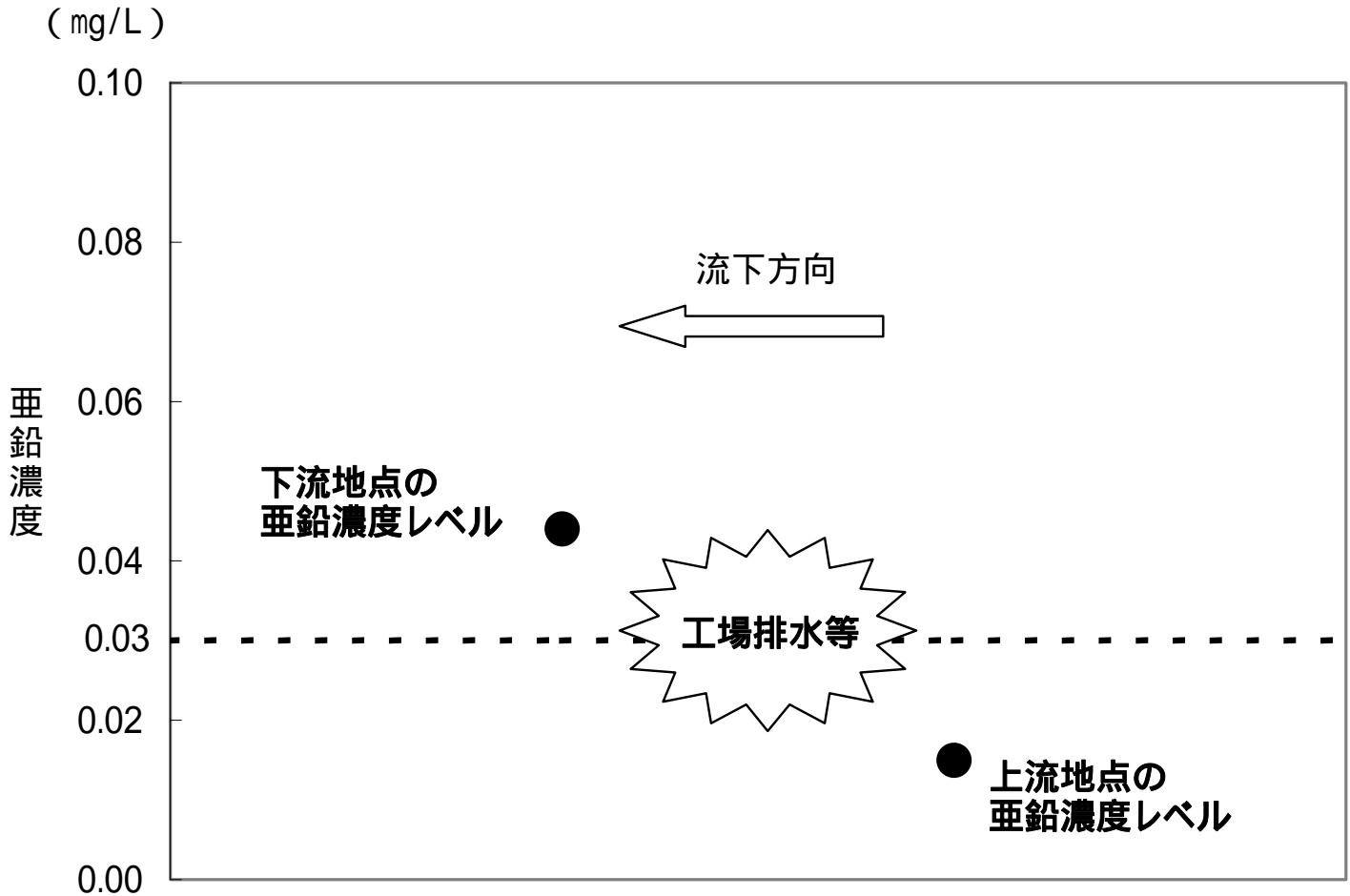
河川上流

河川 上流地点		
濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
0.017	0.361	6.1370

工場排水等

	濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)	負荷割合 (%)
排水	0.937	0.099	92.763	85
排水	0.048	0.002	0.096	
小計			92.859	
その他	0.061	0.269	16.502	15

【ケース3：工場の排水が2 mg/L 程度で環境基準が超過する事例】

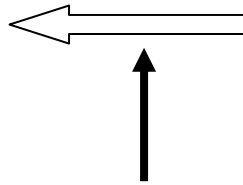


河川下流

河川 下流地点		
濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
0.044	1.045	45.980

河川上流

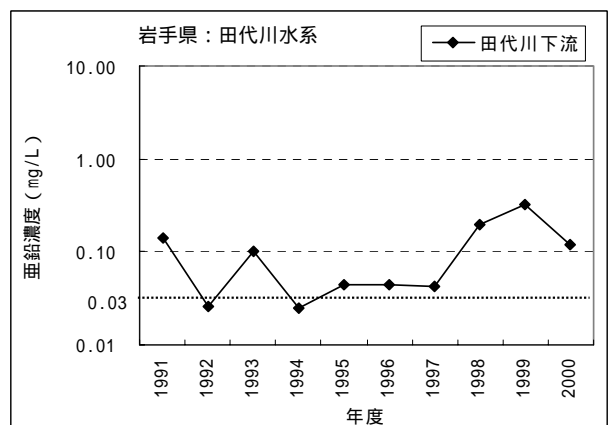
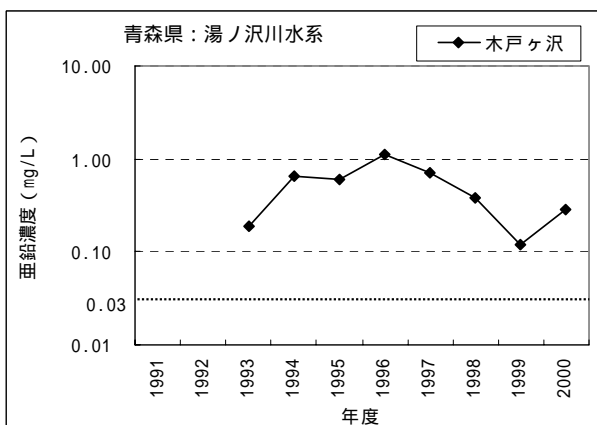
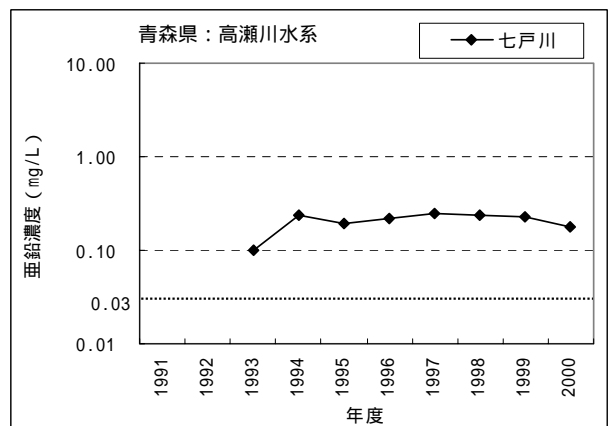
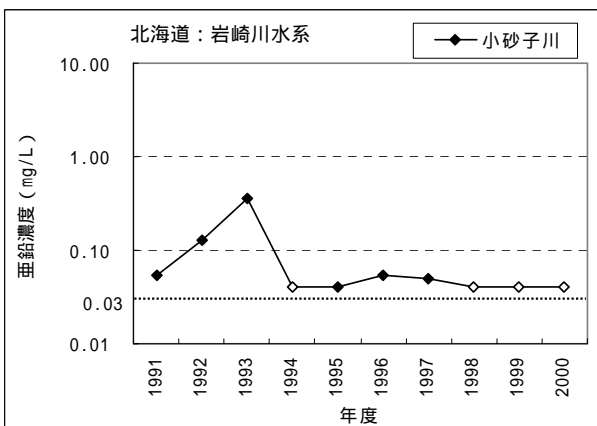
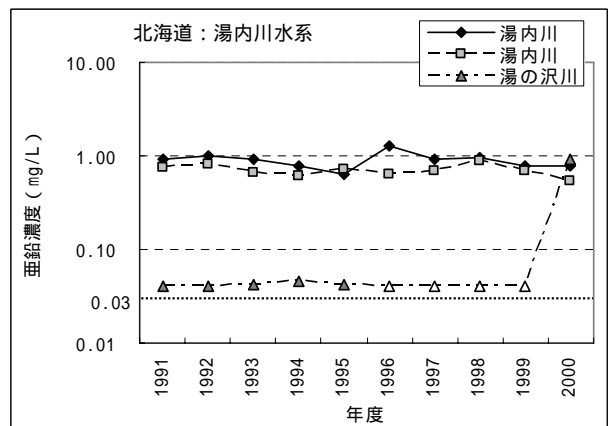
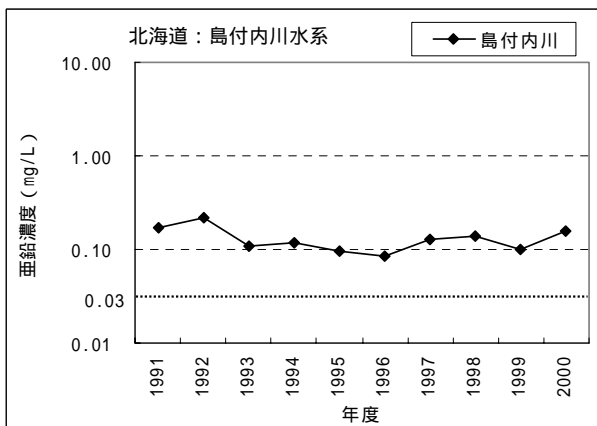
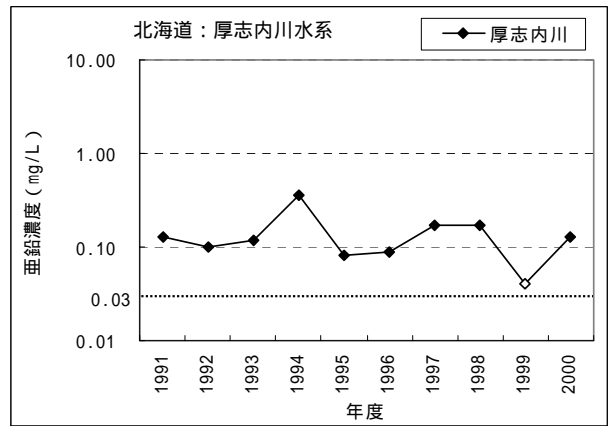
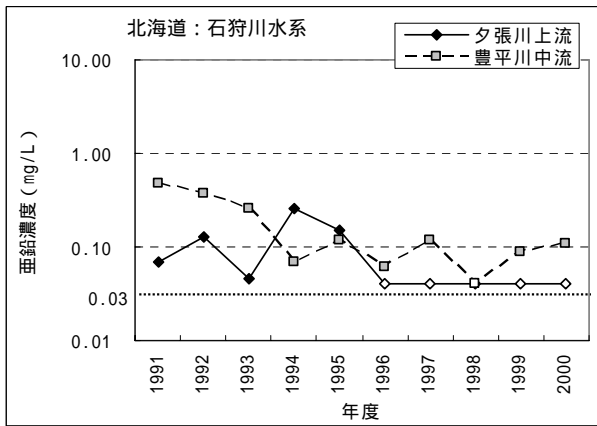
河川 上流地点		
濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)
0.015	0.790	11.850



工場排水等

	濃度(mg/l)	流量(m ³ /s)	負荷量(mg/s)	負荷割合(%)
排水	1.933	0.010	19.330	57
小計			19.330	
その他	0.060	0.245	14.800	43

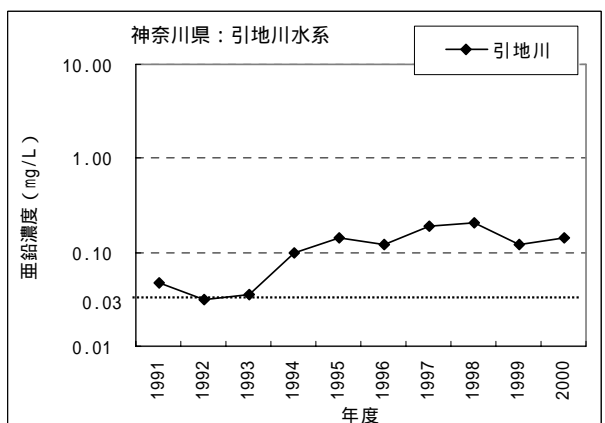
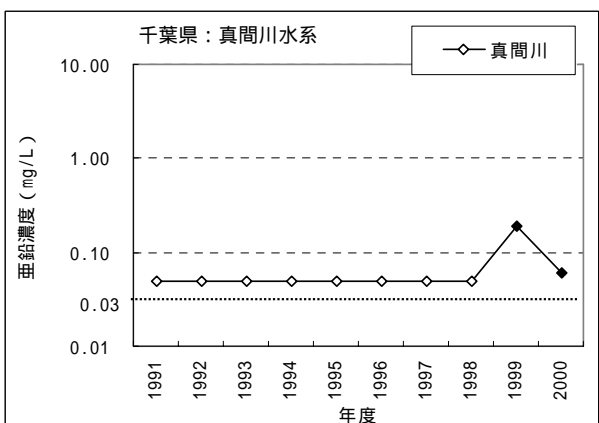
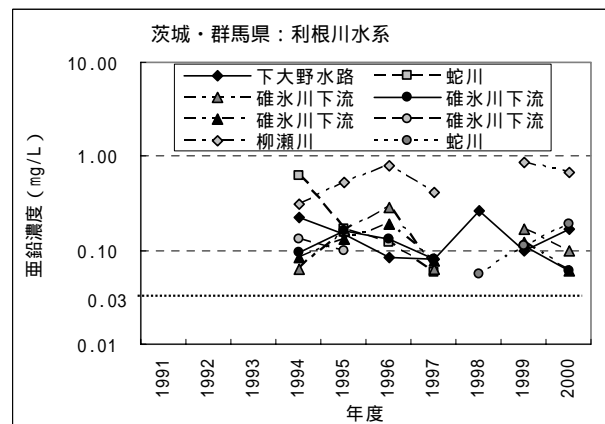
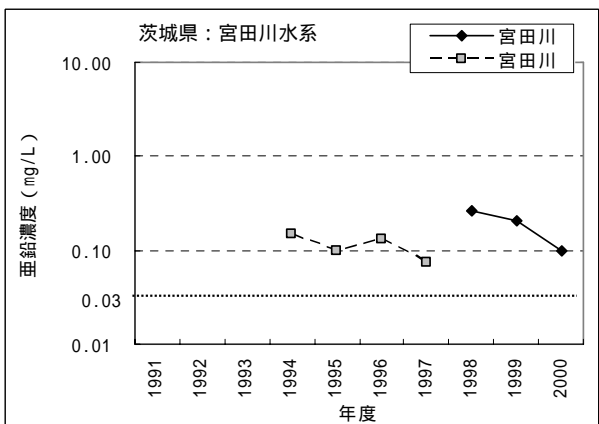
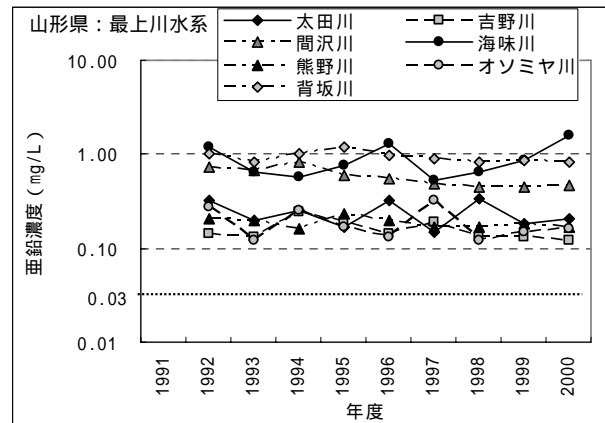
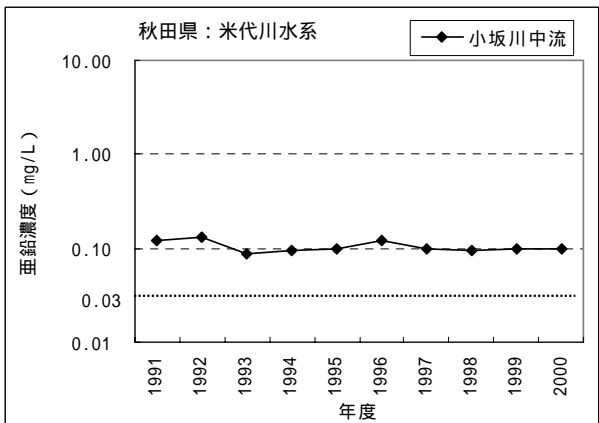
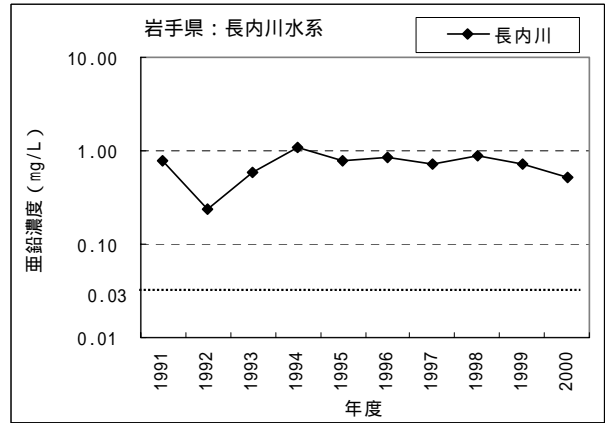
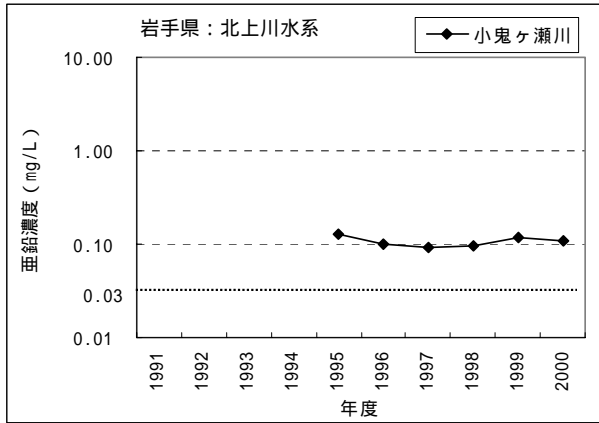
公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値（ND）を示す。

注2．10年間（常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年）の測定結果で、0.03mg/L超過（海域では0.02mg/L超過）を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/Lを超過したものに限定している。

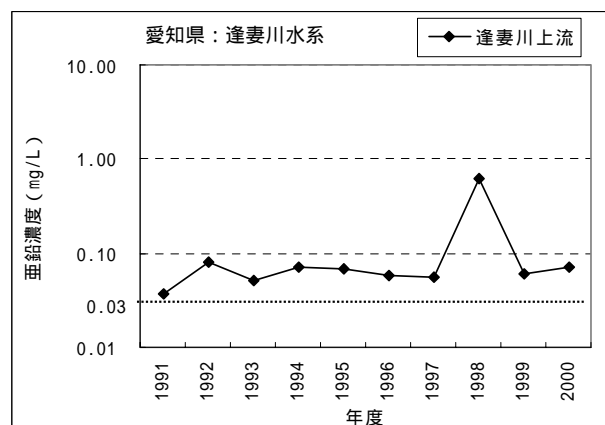
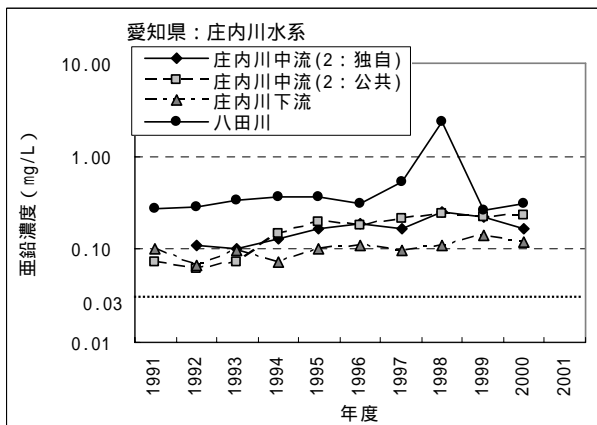
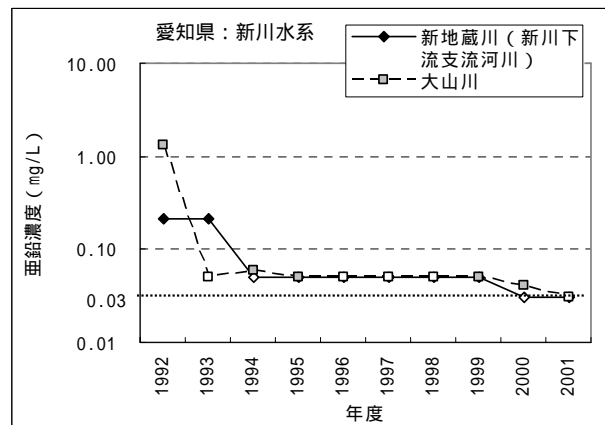
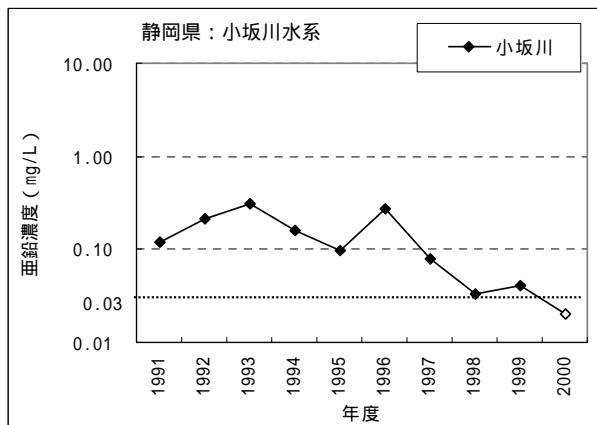
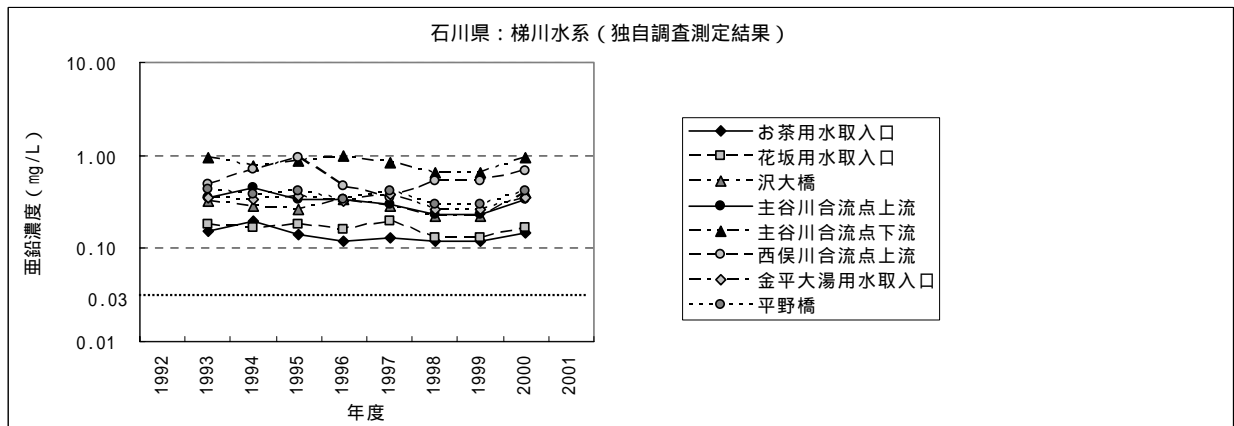
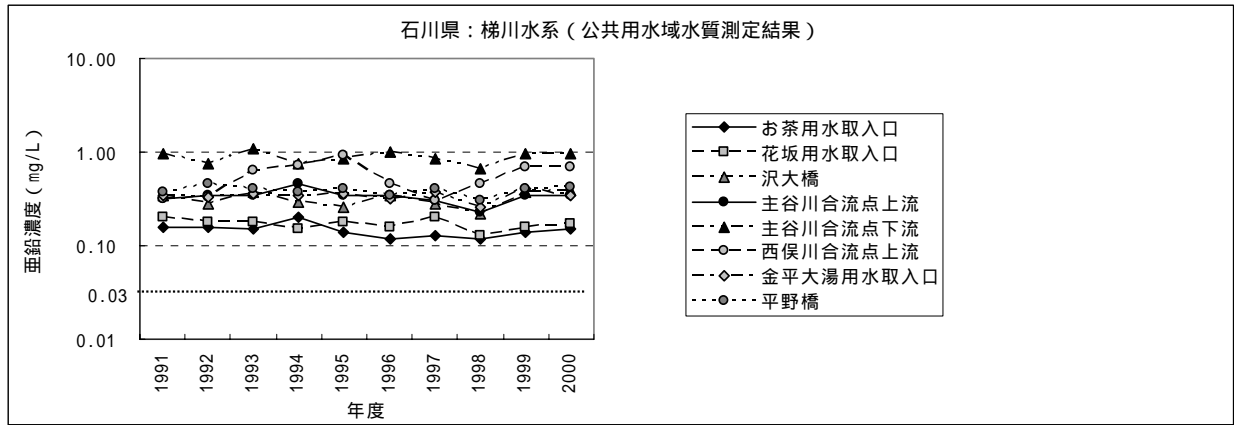
公共水域における亜鉛濃度の経年変化



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値（ND）を示す。

注2．10年間（常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年）の測定結果で、0.03mg/L超過（海域では0.02mg/L超過）を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/Lを超過したものに限定している。

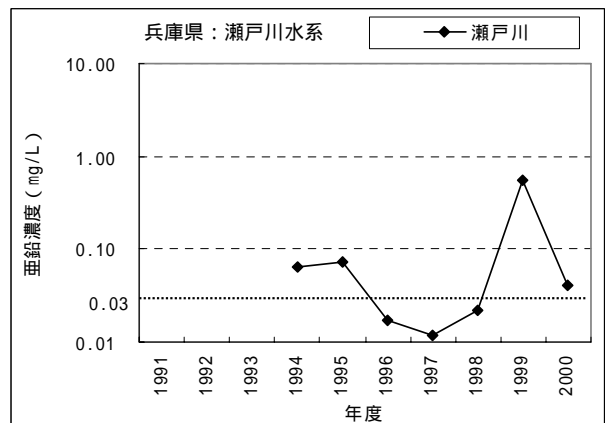
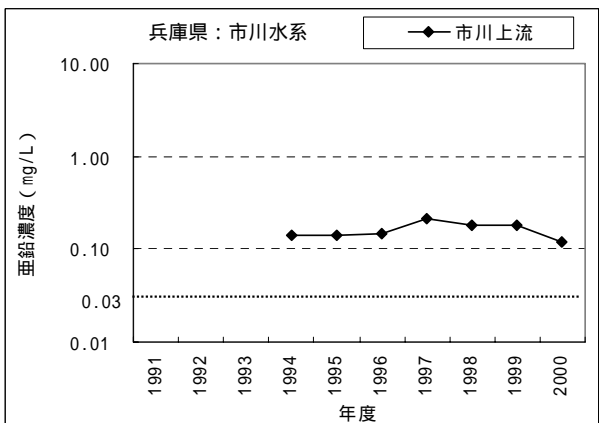
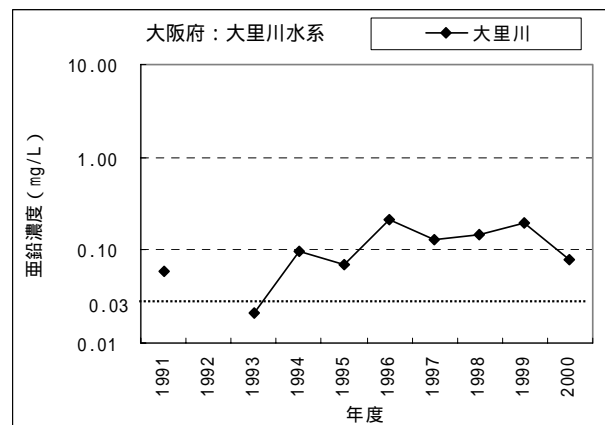
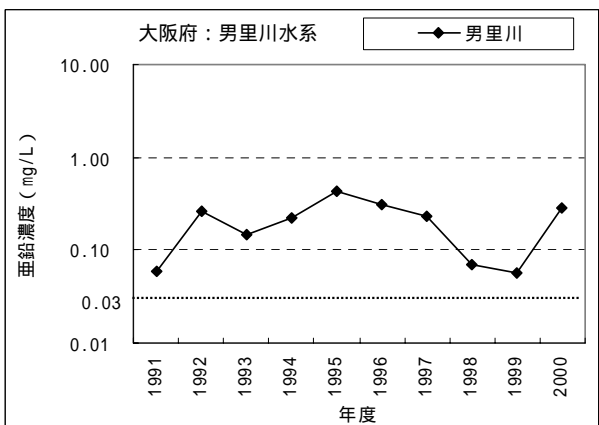
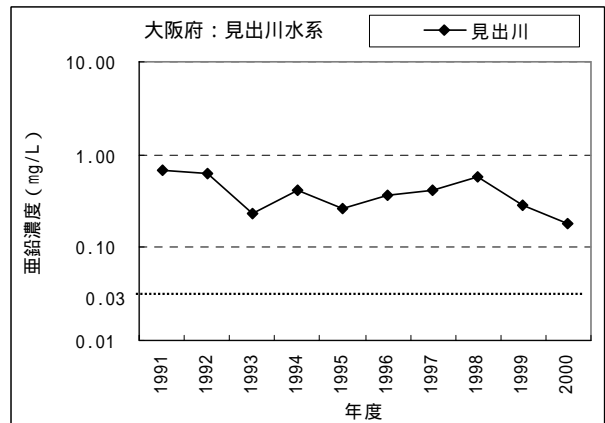
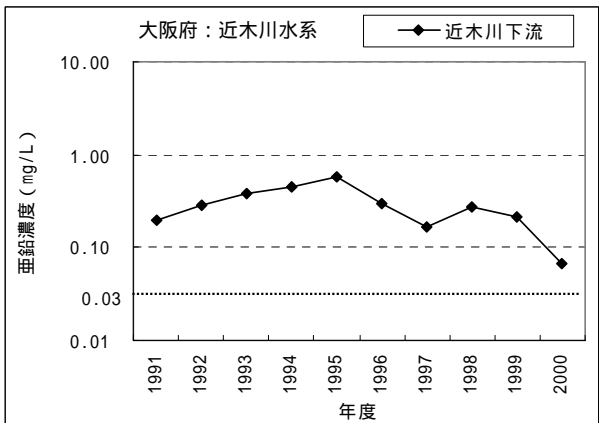
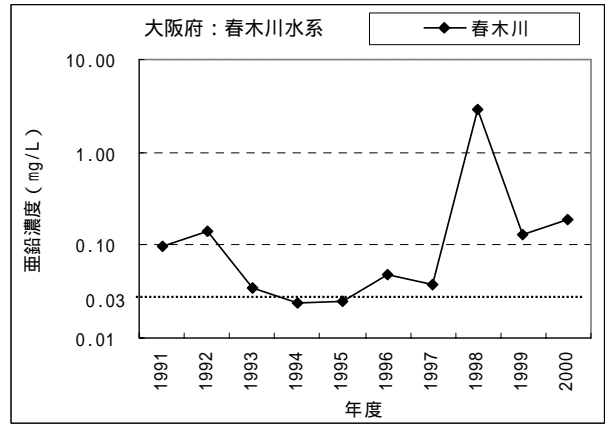
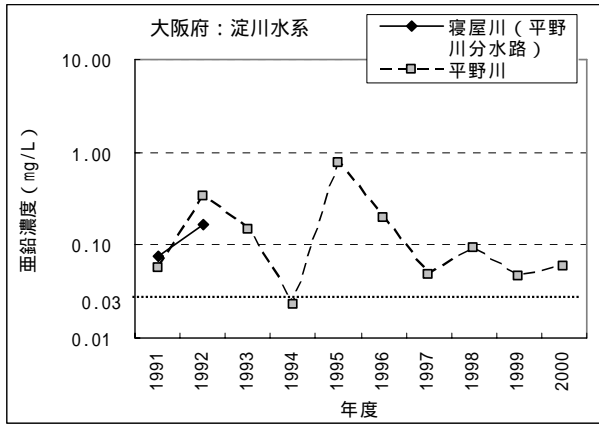
公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1．シンボルの白抜きは定量限界値未満の値（ND）を示す。

注2．10年間（常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年）の測定結果で、0.03mg/L超過（海域では0.02mg/L超過）を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/Lを超過したものに限定している。

公共用水域における亜鉛濃度の経年変化



注1. シンボルの白抜きは定量限界値未満の値 (ND) を示す。

注2. 10年間 (常時監視：1991年～2000年、独自調査：1992年～2001年) の測定結果で、0.03mg/L 超過 (海域では0.02mg/L 超過) を複数年検出した地点のうち、平均値が0.1mg/L を超過したものに限定している。